



福岡県内事業者のSDGsの取組事例集



令和7年3月

目次

① 卸売業、小売業

◇エコー電子工業(株)	企業理念「人とみどりとソリューション」を実践する活動	1
◇(株)ミスターマックス・ホールディングス	持続可能な社会を目指す総合ディスカウントストアのSDGs活動	2
◇(有)古賀商会	カーボンニュートラルによる県産材を利用したアップサイクル商品	3
◇(有)文商	SDGsゴール12「つくる責任・つかう責任」に関する活動	4
◇ニシヤ商事(株)	ニシヤ商事はじめグループ全体で社会の環境問題への意識を高める活動	5
◇(株)スズキ自販福岡	子育てしやすい職場環境の整備	6

② 建設業

◇丸栄産業(株)	丸栄産業のSDGs活動	7
◇日本乾溜工業(株)	事業を通じた脱炭素社会実現へ向けた活動	8
◇(株)グリーン有機資材	環境保全活動から発生する竹による藻場再生	9
◇モリタ企画産業(株)	省エネによるコスト削減活動	10

③ 製造業

◇北九制御システム(株)	総合エンジニアリング企業へ成長するためのSDGs取組活動	11
◇(株)アダル	家具メーカーのい草産業継続支援活動	12
◇宮田織物(株)	わたいれはんてん屋の残糸残布アップサイクル活動	13
◇橋爪印刷	地域朝の見守り活動	14

目次

④ 医療、福祉

- ◇田川市立病院 住民が安心して暮らせるための健康づくり活動15
- ◇山下整骨院 女性柔道整復師の地域防災防犯活動16
- ◇ NPO法人ウィッグリング・ジャパン NPOと企業が協働したがん治療中の患者をサポートできる美容師の養成 ..17

⑤ その他(サービス業、保険業 等)

- ◇三井住友海上火災保険㈱ 地域の共創取組みに関与しSX経営成功モデルを創出18
- ◇一般社団法人日本相続知財センター福岡支部 日本相続知財センターによる地元への活動資金橋渡し支援 ...19
- ◇フラワークリエーション 当事業所が特許を保有する技術であるミラクルデザインブーケ®を活用したプラスチック
ごみ削減に繋がる生花関連商品を広める活動20
- ◇ ㈱都市資源開発 社内の人権尊重活動21
- ◇イエノコト㈱ 空き家課題⇄地域課題の解決に向けた取組22
- ◇㈱アクティブ・ライフ・サポート 社会的課題への惣菜・農業・福祉の連携による取り組み23

企業理念「人とみどりとソリューション」を实践する活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

ICTの活用からシステム開発、保守、中古PCのリユース、リサイクルまで循環型事業を行っています。1996年に企業理念「人とみどりとソリューション」を発表し、事業での地域貢献のみならず社員が働きやすく働き続けられる職場環境や制度の充実を通じて、真摯に社会課題と向き合い、その解決に直接的・間接的に取り組んできました。

【SDGsの主な取組内容】

放置孟宗竹林を購入して照葉樹に植え替えCO2を吸収する生きた森へ里山再生（糸島市、1.5万坪）、人材育成（階層型教育、ハラスメントやセキュリティ、環境等テーマ別の研修）、健康経営（再検診推進と補助、インフルエンザ予防接種費用やジム利用料等の身体づくり支援、部活動支援、ウォーターサーバー設置）、防災減災（局地雨量観測システム開発、安全運転トレーニングアプリ提供）、資源活用（中古PC販売、廃棄機器を素材毎に解体・分別して再素材化）、ストレス検査やエンゲージメントアンケートによる職場改善などの取組を実施しています。

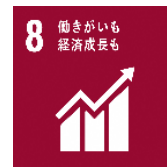
【SDGsの取組による効果】

社会課題に取り組む企業としての責務を果たし、安全で環境にやさしい取組を通じて、取引先からの信頼のみならず、就職希望者から選ばれる基準として、社員のモチベーション向上、また社員のご家族からも安心して働ける職場の指標として、ステークホルダーの皆様と将来に希望が持てる経営につなげていきます。

【企業・団体情報】

事業者名 : エコー電子工業(株)
業 種 : 卸売業
従業員数 : 288名（グループ連結）
所 在 地 : 福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



社有林「100年の森づくり」



局地雨量観測システム「EQROS」

【その他のSDGsの取組】

- ・ボランティア支援（東日本や能登半島等での被災地復旧活動、河川や海岸での清掃活動、東京五輪等）

持続可能な社会を目指す総合ディスカウストアのSDGs活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

地域の暮らしになくてはならない「社会のインフラ」を目指し、総合ディスカウストアだからこそできるサービスを提供してきました。この取り組みをさらに推進するために、2021年にはサステナビリティ基本方針を策定し、環境保全や地域社会に貢献するSDGs活動を行っています。全従業員が一丸となり、「持続可能な社会の実現」を目指して日々取り組んでいます。

【SDGsの主な取組内容】

認証マーク付きの商品やラベルレスのペットボトル飲料などの環境配慮型商品の開発を進めています。自治体との災害時協定やフードドライブ活動を行うなど地域の暮らしに貢献する活動を展開しています。また、従業員がイキイキと働ける環境づくりを目的に、社員のキャリア形成を促す教育体制や男性社員の育児休業取得などに取り組むなど、労働環境の整備を図っています。

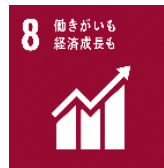
【SDGsの取組による効果】

容器の簡素化や原材料の見直し図った環境配慮型の開発商品は、売上を伸ばし当社の重要な商品として成長しています。店舗では、リユース・リサイクル活動を通じ、お客様がSDGs活動に参加できる環境づくりを推進しています。従業員に関する取り組みでは、2024年2月期に男性社員の育児休暇取得率が100%を達成しました。

【企業・団体情報】

事業者名：(株)ミスターマックス・ホールディングス
業 種：小売業
従業員数：2,391名（2024年2月末）
所 在 地：福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



衣類等の回収の様子



ベビーケアルームのイメージ図

【その他のSDGsの取組】

- ・ ホワイト物流宣言を行い物流効率化を推進
- ・ 店舗に授乳室を設置し利用しやすい環境を提供

カーボンニュートラルによる県産材を利用したアップサイクル商品

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

当社は従来は製材所として、住宅資材(柱・床)などを取った残材での住宅資材(瓦・木・襖・障子)の製造を営んでおりましたが、現在は、平成26年に製造部門を分社化した就労継続支援A型事業所「ボクラの工場」に木材加工を委託しております。製造で出る残材を有効活用できないかという事で始めたのがWoodチャーム(※1)事業です。

現在では、家具資材やバットの廃材からもWoodチャームを製造委託しています（Woodチャームの商標登録取得済み）。

※1: 国産ヒノキの深い香りと上質な質感が楽しめる洗練されたノベルティアイテム。

【SDGsの主な取組内容】

福岡県の中小零細企業がそれぞれの特性を活かしながらパートナーシップで集まり、それぞれがアップサイクル(※2)商品を製造しています。具体的には、製材所が一般住宅資材の製造を行い、その残材・廃材を弊社が瓦屋根資材や襖資材に製造し、さらにその残材と家具製造から出る廃材からWoodチャームを製造し市場に出しています。またWoodチャームを作った残材も元の製材所に戻し、粉碎してのご屑を製造し、畜産業者の牛床や豚舎、鶏舎の敷料にし、堆肥となり土へ戻すまでの地域循環をしています。これにより、持続可能な資源の有効活用と地域の発展を両立させることができます。

※2: 本来であれば捨てられるはずの廃棄物に、デザインやアイデアといった新たな付加価値を持たせることで、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせること。

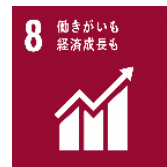
【SDGsの取組による効果】

商品の販売会や展示会、商談会において、弊社のSDGs並びにカーボンニュートラルの取組に興味を持たれるお客様が確実に増え、商談機会が増えました。取組にご賛同いただいた企業のロゴやQRコードをWoodチャームに入れることで、カーボンニュートラルを踏まえた企業PRにご活用いただいています。

【企業・団体情報】

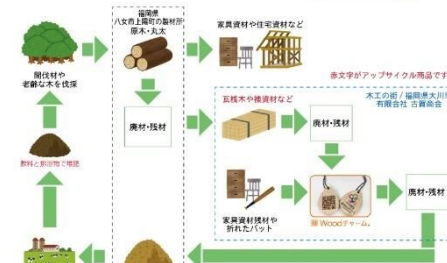
事業者名 : (有)古賀商会
業 種 : 卸売業, 小売業
従業員数 : 2 名
所 在 地 : 大川市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】

2050年に向けた残材・廃材ゼロ カーボンニュートラル
福岡県の間伐材で地域循環から生まれるアップサイクルの商品



折れたバットからできたWoodチャーム

【その他のSDGsの取組】

弊社の販売する商品は製造を全て障がい者就労事業所に委託し、雇用の増加を図りながらサステナブルな製造を行っています。

SDGsゴール12「つくる責任・つかう責任」に関する活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

SDGsの取組を開始する前に、福岡県中小企業家同友会よりエコアクション21（環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム）の案内があり取組認定をされ活動を行いました。数年後エコアクション21の環境懇談会があり、取組をする枠組に矛盾を感じエコアクション21を退くことになりました。弊社でやれる事を継続していました。SDGsのコンサルより取組を案内され、地域の一員として国内での豪雨災害が頻発する中、Co2削減の必要性を感じSDGsのゴール12にチャレンジした次第です。

【SDGsの主な取組内容】

SDGsのゴール12「つくる責任・つかう責任」に伴う地域社会の一員として、循環型社会を目指して地域の経済活動の中、物品販売での取組で地域にある物は地域で調達し、雇用創出、地域経済や文化活動、産業活動などの活発化を目指す取組を行うとともに、Co2削減に貢献できる3Rの実行「Reduce：出るごみを減らす、Reuse：繰り返し使う、Recycle：資源として生まれ変わらせる」を基本理念として循環型社会を目指し、ビジネスを通じて地域経済の雇用・納税に努めていきます。

【SDGsの取組による効果】

営業活動、物品販売に際しては、ガソリン車のCo2に対する効率車両（電気自動車）によるCo2削減、梱包資材の再利用（リユース）による包装・割れ物の緩衝材として再利用、分別によるクラフトテープ・布テープの除去によるリサイクルなどを継続的に行っている。

【企業・団体情報】

事業者名：(有)文商
業種：小売業
従業員数：3人
所在地：福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



リサイクルに回す洋紙



再利用する梱包材

【その他のSDGsの取組】

- ・ 食品ロスをなくすため必要とする量の食料品の調達
- ・ 空気清浄時のウイルス除去用として、安全な微酸性水の活用

ニシヤ商事はじめグループ全体で社会の環境問題への意識を高める活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

弊社グループ会長が船釣りへ出かけた際、沖合で一番最初に釣れたのがレジ袋でした。この経験から、消耗資材を取り扱う企業として、環境問題に取り組むことが責務であると考えて、SDGsに取り組むようになりました。また、企業がSDGsに取り組む際にコストアップに繋がってしまうために消費者の理解を得にくい背景があり、企業がSDGsに取り組むために、まずは消費者のエシカル消費の意識を高めることが大切であると考え、啓発活動をスタートいたしました。

【SDGsの主な取組内容】

福岡県内のスーパーマーケット、食品工場、飲食店などの食品関連企業が一体となって環境対応資材、食品ロス削減に向けた提案を行うことで、脱炭素・プラスチック削減に向けた取り組みを推進しています。その取り組みの一環として、業界初のエコ資材総合カタログ「weeco(=ウィーコ)」を定期的に発行し、「いっしょに、いいエコ」をコンセプトに、飲食店、スーパーマーケット、食品工場など幅広いお客様に向けた使用事例を多数掲載しております。

また、次代を担う子供達への啓発として、近隣の中学2年生に来社いただき、食品業界を取り巻く環境問題について学ぶ課外授業を実施いたしました。そのほか、SDGsを学ぶキャンプへの協力、イベントへの出展など、グループ全体で積極的に取り組んでおります。

【SDGsの取組による効果】

食品の盛り付け事例を多数掲載することで、お客様が実際の使用イメージが掴みやすくなり、着実に環境対応資材の販売数が増加しています。また、子供たちにとっても身近な食品業界を取り巻く環境問題について学んでもらうことで、日常生活で自分たちにできるエコの取組について考えてもらうきっかけになり、結果、日常生活でのごみ分別やエシカル消費の意識向上に繋がっていると大変好評をいただいております。

【企業・団体情報】

事業者名 : ニシヤ商事(株)
業 種 : 卸売業
従業員数 : 約100名
所在地 : 北九州市、糟屋郡宇美町

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



エコ資材総合カタログ「weeco」



啓発イベント出展の様子

【その他のSDGsの取組】

- ・使用済容器再資源化「バガスフードサイクリング」
- ・SDGs関連のアワード制度への応募

子育てしやすい職場環境の整備

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

スズキのコンパクトカー及び軽自動車は子育て世代の2台目の車としても大変ご好評いただいております、お客様だけでなく、自社社員の子育ても応援する、この両輪がこれからの企業には必要だと考え、様々な取り組みを行っています。

【SDGsの主な取組内容】

- ・女性従業員が育児休業から復帰する際には、自宅や保育所など状況を把握したうえで、総務から職場責任者や上司に配慮を促し、残業の発生しない業務へ配慮するなどの対応をとっています。
- ・短時間勤務制度は子どもが小学3年生まで利用可能です。多様な勤務形態があり、希望の勤務時間や通勤距離を勘案して決定しています。
- ・子の看護休暇は子どもが小学校就学後も取得可能で、各家庭の事情に合わせ柔軟に対応しています（給与の支給はなし）。また、会社独自の制度として、配偶者出産休暇を特別有給休暇として2日付与、また子の出生後更に5日間取得可能です。
- ・無給となる産前産後休暇中は、会社の給与補償があります（給与の8割～9割ほどを支給）。また出産祝金を5千円、中学3年生までの子どもがいる従業員には「子育て支援手当」として、第1子・第2子に各3千円、第3子以降には各1万円を毎月支給しています。
- ・子育て中の従業員に限らず、家族サービスの時間が確保できるよう、働き方改革の一環として増員を図り、周囲がカバーできるような体制づくりに取り組んでいます。

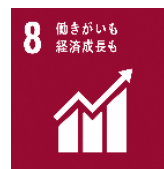
【SDGsの取組による効果】

- ・ここ数年、出産や育児を理由として退職した女性従業員はいない。
- ・男性社員の育休取得実績あり。（1ヵ月以上取得した社員あり）

【企業・団体情報】

事業者名 : (株)スズキ自販福岡
業 種 : 小売・卸売業
従業員数 : 496名
所 在 地 : 糟屋郡粕屋町仲原鶴町2567-10

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



女性社員と展示車



社長と新入社員

【その他のSDGsの取組】

- ・住み続けられるまちづくり「セニアカーの販売や試乗会実施」
- ・質の高い教育をみんなに「定期的にスズキの最新技術などを紹介する技術講習会を専門学校等で実施」

丸栄産業のSDGs活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

当社の「防食メンテナンス」は構造物を末永く守り活かすものです。事業そのものがSDGsに直結していると高く評価されるなかで社内でもSDGsへの関心が高まり、より一層SDGsに貢献することが社会貢献・社員貢献に繋がるという強い思いから下記のような取組を進めています。

【SDGsの主な取組内容】

まず、構造物の腐食を防ぐ当社の「防食メンテナンス」はSDGsのゴール【11. 住み続けられるまちづくり】と【12. つくる責任つかう責任】に直結しています。

また、本社屋根に太陽光発電設備を設置し再生可能エネルギーの利用にも取り組んでいます。

その他、禁煙治療の費用補助や育休支援といった健康経営の強化、資格取得の費用補助や外部機関の講座拡充など社員教育の強化に取り組んでいます。さらに勤怠システムにより労働時間を正確に管理するなどして労働環境の整備を行っています。「社員の健康と成長＝事業の拡大＝SDGsへの貢献」と捉え、様々な社内革新に努めています。

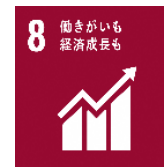
【SDGsの取組による効果】

この3年間で、喫煙率が10%低下・育休取得率100%・国家資格者の増加・月間平均残業時間15h以下など、目に見えて成果が上がったことで、社員の自己成長や働くモチベーションの向上にも繋がっているように思います。ワークライフバランスを実現できる環境が整ってきました。

【企業・団体情報】

事業者名 : 丸栄産業(株)
業 種 : 建設業
従業員数 : 120名
所 在 地 : 北九州市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



腐食劣化診断の様子



資格取得講座の様子

【その他のSDGsの取組】

- ・ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の徹底
- ・ 環境に配慮したエコドライブの徹底

事業を通じた脱炭素社会実現へ向けた活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

当社グループは、経営理念として「環境にやさしく安全な社会の創造に向けてあくなき挑戦を続ける」を掲げ、主業建設事業の重要ミッションとして、頻発する自然災害からまちを守る災害に強いまちづくりを目指して、高品質で耐久性に優れたインフラ整備に取り組んでまいりました。

また、脱炭素社会の実現に向けて、自然災害と表裏一体であるGHG排出量（温室効果ガスの排出量）の削減に先んじて取り組むことをサステナビリティ方針に掲げ、企業価値向上に取り組んでいます。

【SDGsの主な取組内容】

- ①脱炭素社会の実現に向けて、2023年度よりGHG排出量の算定・可視化ツールを導入しCO2排出量を計測すると共に、営業拠点に太陽光発電を設置する等、GHG排出量の削減に取り組んでいます。
- ②自然素材だけで作られた環境型竹短繊維入り土系舗装材「かぐやロード」の開発、普及に取り組んでいます。当製品は、ヒートアイランドの抑制、CO2吸収効果が実証されている他、微力ながら放置竹林問題の解決に貢献しています。
- ③災害時に必要とされる防災グッズや備蓄用食料の、当社オリジナルセットを企画し、九州全域の自治体に災害時の備えを提供させていただいています。

【SDGsの取組による効果】

- ・CO2吸収による脱炭素社会実現への貢献。
- ・ヒートアイランド抑制への貢献。
- ・放置竹林問題への対応。
- ・災害時の防災グッズ・備蓄食料品の普及。
- ・営業拠点へのソーラーパネル設置。

【企業・団体情報】

事業者名 : 日本乾溜工業(株)
業 種 : 建設業
従業員数 : 306名(グループ連結)
所 在 地 : 福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



かぐやロードイメージ



防災グッズラインナップ

【その他のSDGsの取組】

- ・社内クラブによるボランティア活動(パトラン)
- ・節水の周知、水回りの定期点検

環境保全活動から発生する竹による藻場再生

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

福岡県内では放置された竹による山林への侵入竹林面積は拡大の一途を辿り、山林機能の低下が進行しています。山林機能の消失は河川や海洋への深刻な影響が懸念されていることから近隣のNPO法人との協働で侵入竹林の伐採作業を展開し、活動から発生した伐採竹を身近に眠る貴重な天然資源として産官学連携のもと有効活用しています。

【SDGsの主な取組内容】

竹材の卓越した微生物誘引能に着目しました。

竹材に導かれた微生物が竹材を生活基盤として増殖・死滅を繰り返す自然のメカニズムに従った窒素と炭素の循環を行ってくれるので、生態系ピラミッドの最底辺である生産者（無機物から有機物を合成する生物）からの修復を可能にしました。

- ・陸地における侵入竹林の伐採管理による里山や山林の保全（ゴール15）
- ・微生物誘導資材として竹材を消波ブロックなどに吹付け付着した水中沈設構造物による藻場再生の提供（ゴール14）
- ・竹材を微生物誘導資材とした水域への積極活用（ゴール13）

【SDGsの取組による効果】

- ・陸地では、伐採竹を焼却することなく再利用する事で自生種の草木の復活が確認され、健全な山林機能の再生が確認できました。（ゴール15）
- ・海域では、人為的な海藻植栽や海藻への栄養塩の投与など応急的な藻場再生は提供できませんでしたが、水域の環境を育んだ自然藻場再生は進行中です。（ゴール14）
- ・海域有光層では竹材に導かれた光合成微生物の誘引増殖が確認できました。微生物や藻類による光合成で表面海水のCO₂濃度低減が見込め、大気中のCO₂吸収量の増加が期待できます。海水のCO₂濃度の低下は海洋酸性化の抑制にも期待が持てます。（ゴール13）

【企業・団体情報】

事業者名：(株)グリーン有機資材
業種：建設業
従業員数：19名
所在地：遠賀郡芦屋町

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



放置竹林の管理



竹による藻場再生状況

【その他のSDGsの取組】

- ・陸上での緑化工事に使用される高分子樹脂接合材の代替として竹材を活用し水域へのマイクロプラスチックの流失を防止

省エネによるコスト削減活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

SDGsと建設業・産業廃棄物運搬処理業については深い関連性があり、建設業・産業廃棄物運搬処理業が積極的にSDGsを推し進めることで社会や環境の問題を改善していくことができるのではという思いから取組を始めました。

また、省エネによるコスト減や自治体の登録制度やエコアクション21（環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム）などの認証取得でSDGsに取り組むことは、企業にとってさまざまな面で必要だと考え、取組を行っています。

【SDGsの主な取組内容】

- ・自動車、重機機材等燃料使用量の削減に向けた取組として、アイドリングストップの励行、車両の点検及び整備の徹底、効率の良い運行ルートでの通行、GPS機能を備えているハイブリッド車両に変更することなどを実施しています。
- ・廃棄物排出量の削減に向けた取組として、混合廃棄物の抑制努力、廃棄物の選別・チェックなどを実施しています。
- ・『エコアクション21』の認証を取得しています。

【SDGsの取組による効果】

これらの取組により自動車、重機機材等の燃料使用量を削減することができ、この取組が評価され「福岡県エコ事業所表彰自動車燃料使用量削減部門」で最優秀賞を受賞しました。

職員一人一人の意識向上により、二酸化炭素削減だけでなく、経費削減、安全運転の徹底など様々な効果が出てきました。

【企業・団体情報】

事業者名 : モリタ企画産業(株)
業 種 : 建設業
従業員数 : 10名
所在地 : 福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



福岡県エコ事業所表彰
最優秀賞受賞

福岡県エコ事業所
登録証

福岡市SDGs
登録証

環境省エコアクション21
登録証

【その他のSDGsの取組】

- ・節水の周知、水回りの定期点検、節水型トイレの設置による水使用量の削減。
- ・太陽光発電の導入、ソーラー式外灯の設置で電気使用量の削減。

総合エンジニアリング企業へ成長するためのSDGs取組活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

会社の成長戦略の中で、社会的な存在意義を考えたとき、事業活動領域での環境・社会への貢献、及び従業員の働きがい働きやすさ等を推進することで、地域社会に必要とされ続ける会社となるためには、SDGsが不可欠であるとの考えに至りました。

【SDGsの主な取組内容】

SDGsを経営に組み込むには、経営者に寄り添いSDGs経営戦略を練るサポート役が必要と考え、SDGsコンサルティングで活躍されている中小企業診断士の方をSDGs経営顧問として招聘しています。

このアドバイスを受け、SDGs経営を実践しており、高齢者配慮の人材配置・従業員技術資格研修等により生産性が向上し、BCP水処理設備施工、省エネルギー推進等によりお客様からの当社SDGs経営の認知度向上につながっています。

【SDGsの取組による効果】

SDGsの取組により、福岡県エコ事業所登録、環境省の環境認証制度であるエコアクション21、経済産業省が推奨する健康経営優良法人の認証取得を実現しており、更には北九州市サステナブル経営認証制度の申請に着手しています。

【企業・団体情報】

事業者名 : 北九制御システム株
業 種 : 製造業
従業員数 : 19名
所 在 地 : 北九州市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



当社施工のBCP水処理設備



従業員技術資格研修

【その他のSDGsの取組】

- ・ 福岡県エコ事業所、環境省エコアクション21認証
- ・ 経済産業省が推奨する健康経営優良法人の認証取得

家具メーカーのい草産業継続支援活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

い草は古事記に記載があるように、少なくとも1300年以上日本人の住環境を支えてきたとてもサステナブルな素材であるが、輸入い草、人工い草の普及に伴い、国産のい草産業はその存続が危機的な状況です。我々は家具メーカーとして、い草を用いた世界中の生活シーンにフィットするデザインの家具をつくり、海外に広めていくことで、日本のい草産業を未来へとつなげていきたいと思っています。

【SDGsの主な取組内容】

い草を使用した家具ブランド「Look into Nature」を立ち上げ、国際的なインテリアシーンの中心であるイタリアミラノサローネ国際家具見本市に出展することで、世界中の建築家、デザイナー、ディーラーへのPRを進めています。

【SDGsの取組による効果】

本ブランドの理念には、国内のみならず、海外の多くの人々から共感を頂くことができ、ヨーロッパのインテリアシーンの最先端で活躍するデザイナーからこのブランドにデザイナーとして参画したいというオファーを頂きました。その結果、製品化にいたったSAKYUというモデルは、世界3大デザインアワードの一つと言われるiFデザインアワード2024を受賞することが出来ました。

また、ミラノサローネ出展においても、本ブランドの本質的なサステナブル活動を高く評価頂き、初出展としては異例の展示ブースロケーションを用意して頂きました。

ヨーロッパ、東南アジアを中心に、多くのディーラーとつながることが出来、事業としても少しずつ軌道に乗り始めた実感を持っています。

【企業・団体情報】

事業者名 : (株)アダル
業 種 : 製造業
従業員数 : 262名
所在地 : 福岡市

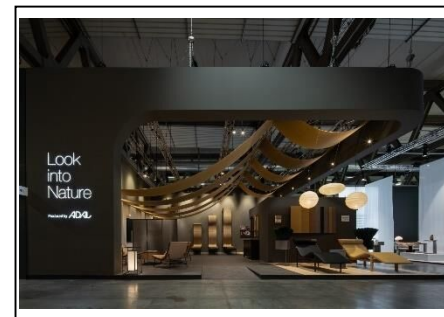
【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



代表モデルSAKYU



ミラノサローネ2024出展

【その他のSDGsの取組】

・木材の端材をペレット化し再資源化。大型3Dプリンターで成形し、新しく製品化する取組など

わたいれはんてん屋の残糸残布アップサイクル活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

宮田織物は、生地デザイン～製織～服飾デザイン～縫製～綿入～とじまで、繊維業界には珍しいほぼ一貫生産体制ですが、製織工程では残糸、縫製工程では残布、綿入工程では残綿と、工程ごとに原材料が残ってしまいます。残り物だからと捨ててしまうのは「もったいない」。何とか活用して生かせないかと若手スタッフが考えました。

【SDGsの主な取組内容】

綿入袴天や作務衣、haori等の生地の製織工程（特に整経＝せいけい）でどうしても発生する残糸を、久留米のイナバ株式会社様とコラボし、oddシリーズ（お洒落な手袋や靴下、アームカバー）にアップサイクルしています。

裁断縫製時にどうしても発生する布のハギレは、大阪の中原化成品工業株式会社様に提供し、強化プラスチックに生まれ変わっています。

他にも、九州大学の学生様とコラボし、裁断縫製時に出る残布と、綿入工程で出る残綿を組合わせたハンドメイドキットも開発しました。

【SDGsの取組による効果】

残糸を使ったodd gloveは2022年福岡デザインアワードで金賞入賞。oddシリーズ、ハンドメイドキットは、ネットやイベントで販売し大好評。社内でも、アップサイクル、そしてSDGsへの意識が高まりました。

【企業・団体情報】

事業者名：宮田織物(株)
業 種：繊維製品製造販売業
従業員数：39名
所在地：筑後市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



残糸を使ったodd glove



ハギレを使った強化プラスチック

【その他のSDGsの取組】

- ・LED蛍光灯に順次変換、節電の推奨
- ・太陽光発電の導入

地域朝の見守り活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

平成28年から3年間、当方が地域の民生委員児童委員を担当していたある日、小学生の保護者から「登校中、子どもが二輪車と接触事故になりそうだった」との相談があり、当方が現場に立つだけでも二輪車・四輪車の運転の方も気を付けてくれるかなと思い、朝の見守り活動を始めました。

実際現場に立ってみると通学路、通勤路で、道幅も狭く、車のスピードが出てしまう下り坂があり、横断歩道もないことで、かなり危険な場所と感じました。

【SDGsの主な取組内容】

子ども達が横断するときは、横断歩道がないので、車がないときか、運転手に止まっていたときに、一緒に横断しています。

ほかにも、地域の方々に対する「おはようございます、気を付けて行ってらっしゃい。」の声掛けも行っています。

【SDGsの取組による効果】

現在では、子ども達が通学していると、二輪車・四輪車の運転の方が気を付けて運転していただくようになり、また、当方が地域の方々ともあいさつを交わすようになりました。

【企業・団体情報】

事業者名：橋爪印刷
業種：製造業
従業員数：2名
所在地：八女市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



朝の通学路の見守りの様子



朝の通学路の見守り場所

【その他のSDGsの取組】

・八女地区防犯指導委員連絡会員として、年金支給日におけるニセ電話詐欺被害防止キャンペーン啓発活動

住民が安心して暮らせるための健康づくり活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

地域に必要な医療の提供に努めるとともに、住民を対象とした各種健康講座を行うなど病気の予防に積極的に取り組んでいます。

また、ホームページや広報誌のほか、SNSなどを活用し、医療情報の発信や健康増進の啓発を行っています。

【SDGsの主な取組内容】

当院ではSDGsの視点を事業計画に取り入れ、目標達成に向けて取り組んでいます。特に、以下のような住民の健康づくり活動に力を入れています。

○病院まつりの開催

健康づくりの取組や当院が提供している医療などを、楽しく学び体験できる「地域住民との交流」の場として、年に1回開催。健康講座や演奏会をはじめ、院内見学ツアーなど大人から子どもまでが魅力を感じるような体験や検査を実施し、多くの方に参加してもらえるよう取り組んでいる。

○健康講座の開催

運動や食事など参加者の関心の高いテーマを厳選し、毎月「みんなの健康講座」を開催。その他、「糖尿病教室」や「腎臓病教室」、地域の公民館での「出前講座」など、様々な講座を実施。

【SDGsの取組による効果】

上記の取組により、地域住民の健康意識や健康リテラシーの向上に繋がっています。

【企業・団体情報】

事業者名：田川市立病院

業種：医療、福祉

従業員数：420名（R6.10.1）

所在地：田川市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



健康講座



出前講座

【その他のSDGsの取組】

- ・第二種感染症指定医療機関として感染症診療に努めるとともに、地域への感染予防の啓発など率先して推進。

女性柔道整復師の地域防災防犯活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

当施術所は女性柔道整復師一人で管理しています。
伝統医療である柔道整復師の業務リテラシーは社会では低い状態であり、柔道整復師とは社会にどのような役割か、また女性柔道整復師の役割は何かを公益社団法人福岡柔道整復師会の会員として行政の方針にしたがって目標を定め取り組んでいます。

【SDGsの主な取組内容】

柔道整復師の施術所内での業務は骨折脱臼の応急手当、医師の同意のもと骨折脱臼の施術、打撲・捻挫・挫傷の施術、外傷性の明らかな骨・関節・筋のケガや痛みに対し自然治癒力を最大に活用した伝統医療です。

特に災害でのケガの応急手当のため、整復固定を包帯技術を生かし身近なものを利用し活用できる事を踏まえ、日ごろから針金や厚紙箱で固定具制作を行い活用しています。地域に近い存在のため防犯、防災の役割になる活動を行っています。柔道整復学と災害医療学を学習し伝統医療である柔道整復師の災害社会の効果に取り組んでいます。

【SDGsの取組による効果】

地域の人と活動したり、ボランティア団体と交流することで防災、防犯に対する転ばぬ先の杖が自然と高まっています。お菓子の箱での固定具づくりや晒（さらし）での包帯づくりは小学生高学年にも有効だとわかり、小学生の頃から積極的に身近に感じてもらえています。

【企業・団体情報】

事業者名： 山下整骨院
業 種： 医療・福祉
従業員数： 1名
所在地： 久留米市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



晒（さらし）で作成した包帯



お菓子箱で作成した固定具

【その他のSDGsの取組】

- ・ 地域お祭り・防犯参加・日赤ボランティア活動
- ・ DV被害者支援女性相談・柔整学・災害学学修

NPOと企業が協働したがん治療中の患者をサポートできる美容師の養成

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

がん患者の中には、抗がん剤の副作用での脱毛など外見の変化の悩みから闘病への意欲や自信を失くしてしまう人が多くいますが、そういった外見の悩みを相談できる場所は少ないのが現状です。

【SDGsの主な取組内容】

ウィッグのレンタルを通じて患者と長年接してきたNPO（NPO法人ウィッグリング・ジャパン）と、美容室のネットワークを持つ総合美容商社（株ダリア）、がん治療の薬の知識を持つ薬局（株タカラ薬局）の協働により、がん患者に寄り添ったサービスを提供できる美容師を養成するための講座を全国で実施しています。

【SDGsの取組による効果】

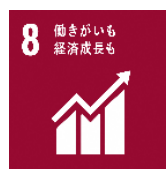
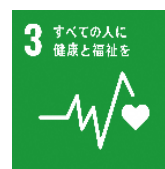
がんや薬に関する基礎知識やがん患者に対するコミュニケーションマナーなど、それぞれの専門家による講義のほか、実習型のワークショップも取り入れることで、実践的なスキルアップにつながる講座で、がん患者が安心して相談できる居場所づくりにつながっています。

講座修了者の在籍する美容室では、がん患者の希望に応じて、ウィッグのカットや脱毛時のサポート、自毛、再生毛のケアなどを行うほか、NPOが全国から寄附を受けたウィッグを安価に提供することで、がん患者の外見ケアのサポートに寄与しています。

【企業・団体情報】

事業者名 : NPO法人ウィッグリング・ジャパン
業 種 : 医療、福祉
従業員数 : 3名
所 在 地 : 福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



講座修了者の集合写真



講座の様子

【その他のSDGsの取組】

- ・がん治療経験者の治療と仕事との両立支援（雇用）
- ・がん治療中の美容・生活面の情報メディアの運営

地域の共創取組みに関与しSX経営成功モデルを創出

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

当社グループは、2018年度より経営計画にSDGsをビジネスモデルに組み込み、社会と共に価値を創造することで持続的な成長を実現する企業の在り方を提示しています。

今回、（株）久留米リサーチ・パーク（久留米市・福岡県等が出資）が主催する「くるめSX経営研究会」に講師ならびにファシリテーターとして参画しました。

本研究会は、サステナブル経営を理解し、自社の課題や社会的役割を認識すると共に、社会的な要請を経営に取組み、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）経営の成功モデルとなることを目的とするもので、8事業者が参加しました。

【SDGsの主な取組内容】

本研究会では、4回に渡るセッション（勉強会・ワークショップ）を経て、各社が自社の強みを活かして地域課題を解決する具体的な取組及び目標を検討・発表しました。8事業者間相互の理解を深め、セッションに参加したゲスト企業との交流もあり、地域の共創取組みへの発展が期待されます。

【SDGsの取組による効果】

本研究会に参加した8事業者は、福岡県SDGs登録制度に登録済み。これにより、各社のSX経営を社内外に発信し、取組の実効性を高め、持続的な成長につながる効果がありました。

【企業・団体情報】

事業者名：三井住友海上火災保険（株）福岡支店
業種：保険業
従業員数：160名
所在地：福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



講義風景



ワークショップの様子

【その他のSDGsの取組】

- ・地域企業の防災・減災支援、BCP策定支援
- ・脱炭素、カーボンニュートラル支援など

日本相続知財センターによる地元への活動資金橋渡し支援

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

当センターでは、遺言書の作成、認知症対策、亡くなった後の財産引継ぎのサポートを行っています。近年、核家族化や「おひとり様」の増加に伴い、寄付に関するご依頼が増加しています。寄付先に迷われる依頼者に対し、地元への寄付が可能であり、その支援もできることをお伝えすると、「自分亡き後、残った遺産を地元に戻元したい」との声を多くいただくようになりました。これを受け、遺言を活用し、社会貢献団体へ寄付する仕組みを構築しました。

【SDGsの主な取組内容】

遺贈寄付を希望する方に対し、遺言書作成の啓蒙活動や作成サポートを行い、さらに遺言執行を通じて、寄付を希望する方と地域団体等の橋渡しをしています。

【SDGsの取組による効果】

「自分亡き後の財産を、国や疎遠な親族ではなく、お世話になった地域や団体に渡したい」という方々の想いに応えるとともに、世界遺産、国際機関、そして地元で社会貢献を行う団体等へ活動資金を橋渡ししています。これにより、これらの団体の活動が活発化し、SDGsの目標達成に貢献しています。

【企業・団体情報】

事業者名：（一社）日本相続知財センター福岡支部
業 種： その他サービス業
従業員数： 5名
所 在 地： 福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



寄付先の一例
(福岡市動物園)



寄付先の一例
(福岡市消防局)

【その他のSDGsの取組】

- ・「障がいのある子の親なき後対策」のサポート
- ・売れない不動産の処分サポート

当事業所が特許を保有する技術であるミラクルデザインブーケ®を活用した プラスチックごみ削減に繋がる生花関連商品を広める活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

“そのまま飾れて配送中に萎れる心配が無い生花商品”としてアレンジがよく知られていますが、吸水性スポンジが欠かせません。これは一度限りの使い捨てプラスチック製品で、多くのプラスチックごみとなります。この生花業界の現状に疑問を持った事が“そのまま飾れてアレンジより日持ちする、宅配向き生花商品”でありながら、吸水性スポンジ不使用のミラクルデザインブーケ開発に繋がりました。

【SDGsの主な取組内容】

当事業所が特許を保有するミラクルデザインブーケ®は、手間不要の生花商品でありながらアレンジより日持ちし吸水スポンジ不使用なので、上記経緯に記載の課題を解決し、プラスチックごみ削減に寄与します。ミラクルデザインブーケ®の技術を取り入れ製作販売する生花店にも、それを購入する消費者にもSDGs実践のツールを提供する事になります。現在まとまった数を納品する仕事があり、製作を請け負う生花事業者や6次産業化に取り組む花卉農業事業者を探しています。

【SDGsの取組による効果】

地域の生花店や生協と連携してプラスチックごみ削減に繋がる技術を商品化しており、エンドユーザーである消費者にも“活用するだけでSDGs実践”ができる機会を提供しています。花卉農家の6次産業化にも当技術の活用が効果的で、実現すればSDGsの目標を複数達成する事になります。

【企業・団体情報】

事業者名：フラワークリエーション
業種：教育、学習支援業
従業員数：1名
所在地：福岡市

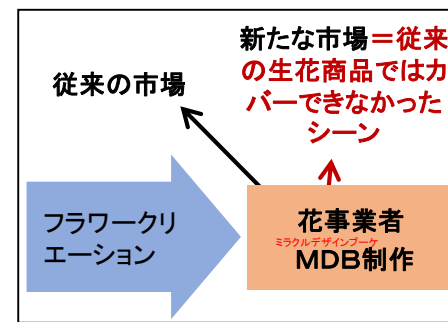
【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



ミラクルデザインブーケ®



ミラクルデザインブーケ®の活用イメージ

【その他のSDGsの取組】

・地域の生花店や生協と連携しての商品化による「パートナーシップによる目標達成」

社内の人権尊重活動

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

これまで、様々な人権保護の取組が整備されてきたにもかかわらず、弊社においてはこういった取組についての学びの場がなかったため、社員一人一人の人権に対する意識や知識の不足を感じておりました。

多様性を求められる中で企業として、環境問題だけでなく人権尊重等にも真剣に取り組むことが求められていると思い、取組を始めました。

【SDGsの主な取組内容】

まずは管理者や経営者が人権に対する知識をしっかりと持ち従業員へ周知することが大事と考え、積極的にセミナーなどへ参加しジェンダーレスについて学びました。

その後、外部講師を招き社員全員へLGBTを題材にした講習を開催しました。

【SDGsの取組による効果】

講習後、アンケートを取り意見を集めた結果、LGBTについてほとんどの社員から「今まで周りにいなかった」という考えから、「気づかなかったんだ」という考えに変わったという意見が多く出ました。

LGBTの当事者を講師に招いたことで、より身近に感じられ多様性について社員の意識をかえるきっかけになったと思います。

【企業・団体情報】

事業者名：(株)都市資源開発

業種：解体工事業、産業廃棄物収集運搬・処分業

従業員数：38名

所在地：福岡市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】

株式会社都市資源開発		
第34期経営計画発表会式次第		
2024年7月20日（土）		
司会者（田村 賢一）		
開会の言葉	PM 2:00	（司会者）
1、経営理念・経営方針唱和	PM 2:03	（中尾 潤）
2、常務取締役挨拶	PM 2:05	（田端 侑香）
3、人権同和研修	PM 2:10	（黒部美咲 様）



LGBT講習の様子

地域花植え活動のイメージ図

【その他のSDGsの取組】

- ・地域での花植え活動への参加
- ・エコアクション21の活動を通じて環境負荷低減活動

空き家課題≡地域課題の解決に向けた取組

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

少子高齢や人口減少、若者の都市部への流出により、地域の中で空き家が増えてきました。個人や家族の問題（相続・家の中の荷物等）だけでなく、近隣住民等への影響（治安・市場価値の下落等）があり、空き家課題≡地域課題の解決に向けて取組を行っています。

【SDGsの主な取組内容】

- ①空き家の利活用・発生抑制
- ②空き家対策の担い手育成
- ③産官学連携
- ④住教育

空き家課題≡地域課題解決のために、①～④の取組を中心に、地域住民の意識の涵養や相談体制の整備、行政との協働による課題解決、更に将来の住まいの担い手となる子供たちへの住教育の支援等、ソーシャルビジネスと捉え継続して事業展開しています。

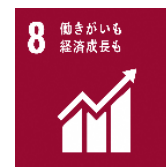
【SDGsの取組による効果】

- ・地域の空き家の減少、発生抑制
- ・空き家利活用による地域経済の活性化
- ・多世代交流の拠点の創出
- ・各専門家や諸団体との横連携によるワンストップ対応
- ・地域の見守り体制強化、防犯
- ・官民連携の促進

【企業・団体情報】

事業者名 : イエノコト (株)
業 種 : リフォーム業・不動産業
従業員数 : 11名
所 在 地 : 太宰府市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



空き家予防啓発の様子



空きアパート利活用の様子

【その他のSDGsの取組】

- ・ITを活用した在宅勤務制度の実践
- ・建築業界における女性活躍の推進

社会的課題への惣菜・農業・福祉の連携による取り組み

【SDGsの取組を始めた経緯（課題や背景）】

作業療法士である創業者は、病院勤務の経験から、食事や社会的孤立といった課題を抱える高齢者が多くおられるという状況に直面してきました。また、創業者は同市内の農家出身であり、後継者不足などによる地元農業の将来への問題にも直面していました。食事を中心とした事業を通して、高齢化によるこれらの課題に取り組むたいと考え、作業療法士やケアマネジャーの資格を持つ創業者の経験やネットワークを活かした惣菜店事業を開始しました。

【SDGsの主な取組内容】

- ・惣菜店には座席を設けており、買い物ついでにコミュニケーションをとれるよう工夫している。
- ・惣菜販売の際に、買い物に来る高齢者の見守り活動を行っており、民生委員などと連携しながら高齢者の安全・安心に努めている。
- ・惣菜店に隣接するデイサービスでは、近隣保育園などと連携し、高齢者に社会的役割を担っていただくなどの取り組みを行っている。
- ・農業と福祉の連携により地産地消を推進し、地元農業の活性化を図っている。

【SDGsの取組による効果】

上記取組は、高齢者在宅生活の安全・安心につながるだけではなく、高齢者の生きがいがづくり、地産地消による農業活性化、高齢化による社会的課題への相互理解の促進などにも寄与するものと考えています。

【企業・団体情報】

事業者名 : (株)アクティブ・ライフ・サポート
業 種 : 惣菜、介護、農業
従業員数 : 46名
所 在 地 : 北九州市

【主な取組に関連するSDGsのゴール】



【主な取組に関する写真・イメージ図】



惣菜店の様子



デイサービスでの高齢者から
保育園児への贈り物

【その他のSDGsの取組】

- ・フードロスの削減、ビニール袋使用削減の取り組み、など